

東日本大震災復興交付金 農山漁村地域復興基盤総合整備事業 気仙沼地区 概要

H29.4更新

- 所在地 気仙沼市（旧気仙沼市，旧本吉町）
- 受益面積 56.5ha
- 事業量
ほ場整備工 A=99.7ha
農業集落道整備 L=198m
- 予定管理者 気仙沼市



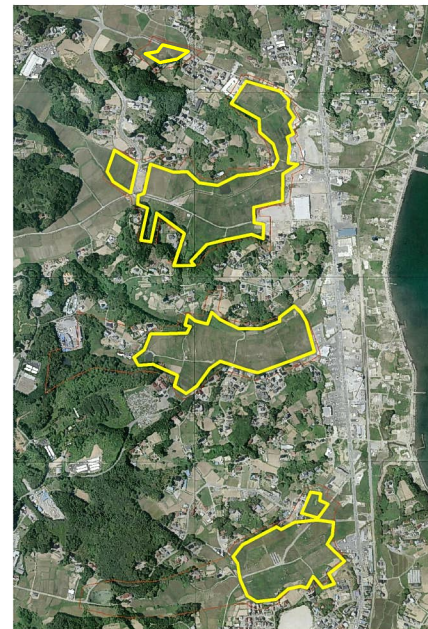
▲ 被災状況（最知工区）



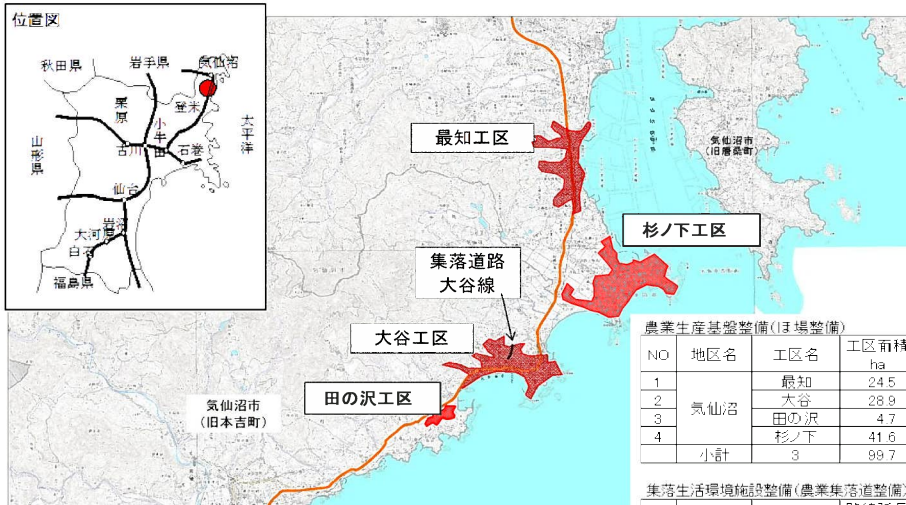
▲ 被災状況（大谷工区）



▲ 大谷工区



▲ 最知工区



事業概要

本地域は気仙沼市に位置し、太平洋沿岸部の緩傾斜な水田地帯です。地区内の農地は、現在でも一部を除き未整理であるため、不整形な区画のうえ道水路は狭小で十分な密度がなく、農家は個別経営を基本とした旧来の営農を継続している状況です。

また、平成23年3月11日発生の東北地方太平洋沖地震による大津波のため、農村地域も壊滅的な被害を受け、農業農村の復旧が急務となっており、地域の復旧については、農地の原形復旧に止まらず、農業生産基盤の復興を確立する必要があります。

このため、農地の区画拡大や道水路の整備を行い、農業機械の大型化や経営体への集約化などの近代的な営農への転換を目指します。

ほ場整備のイメージ

